

あおもりのいのちの電話

2021年2月 56号



— 雪が降り積もる鶴の舞橋(つるのまいはし) —

写真提供： 岩谷 和子

四季おりおり朝な夕なに、信仰の山岩木山を映し出す大溜池津軽富士見湖。そこはたくさんの野鳥たちの集いの場でもあります。全長300メートルの日本一長い三連太鼓橋は、優雅に羽を広げて舞う鶴の姿を青森ヒバの木のやわらかさによって表しています。

自由にでかけられる日がやってきたときには、是非訪れて欲しい北津軽のおすすめスポットです。

相談電話	0172-33-7830	(毎日 12:00~21:00)
いのちの電話ナビダイヤル	0570-783-556	(毎日 10:00~22:00)
県民フリーダイヤル	0120-063-556	(毎月 1日 12:00~21:00 3月からは1日と15日)
自殺予防フリーダイヤル	0120-783-556	(毎月 10日 8:00~翌日 8:00)

人としての在りようを考える

～新型コロナ感染症時代を生き抜くために～

認定NPO法人 あおもりのちの電話
研修委員長 田中 真

－はじめに－

我が国は、平成10年から平成23年まで14年連続自殺者数3万人時代を生き抜いてきました。そして時代が平成から令和に代わり、ようやく自殺者数が2万人を切ろうかという昨今、新型コロナ感染症により再び自殺者数が前年度比増の危機を迎えています。これまでリーマンショック、東日本大震災など様々な困難を乗り越え、そして困難の真ただ中にある今、改めて時代を問わずあり続ける「人としての在りよう」とは何なのかについて考えていきたいと思えます。

－自殺を引き起こす社会構造がある－

平成9年に北海道拓殖銀行、山一證券の経営破綻をきっかけに企業倒産が相次ぎ、平成10年失業率が4%を超えるとともに、男性の中高年を中心に自殺者数が前年比約8,000名増の32,863名に達しました。その後も大企業は経営体質強化を目的に大量のリストラを実施し、平成15年には自殺者数が過去最大の34,427名に達してしまいます。当時の小泉内閣は、失業率対策として労働者派遣法の規制緩和を実施し、平成16年には製造業の派遣が解禁になりました。コスト削減、生産性の効率化、失業率改善の受け皿として非正規雇用の派遣社員が大量に生まれたのです。製造業の非正規雇用の派遣社員受け入れは、大企業にとっては好都合でした。景気が良いときには大量に雇用し、景気が悪くなるとサッと首を切れる。いつでも使い捨てることができるからです。しかし当の

派遣社員にとってはたまったものではありません。特に当時は社宅に住み込みで雇われていた派遣社員などは、首切りと同時に住む場所も失ってしまうリスクがあったからです。

そして平成20年、リーマンショックにより日本の株価も大暴落しました。街には派遣切りにあい、住む場所を失った非正規労働者であふれ、年末には日比谷公園に救済目的で年越し派遣村が設置されたのは記憶に新しいところです。この年、日本を震撼させた歴史的な事件、秋葉原連続通り魔事件が発生します。実は事件を起こした青森県出身の若者も、製造業に勤務し事件前に派遣切りにあった非正規労働者だったのです。彼は事件を起こす前に二度の自殺未遂を起こしています。そして事件直前、SNS上にこう書き込んでいました。「結局のところ俺が求められているわけじゃない。人手が足りれば辞めさせられる。人手が足りなくなれば呼ばれる。俺は単に人手のひとつのコマとして必要とされるのであって、俺を必要としている人なんて誰もいないんだ」と。社会的に存在せず、価値のない人間だと感じている人は簡単に自殺を選択します。そこに自己の存在を認めようとしない社会への怒りが加わると、何の関係もない周囲を巻き添えにしてまで社会的に存在しようとするのです。

このように、14年連続自殺者数3万人時代は切り捨ての時代でした。生産性を上げ続けないと容易に切り捨てられる時代。代わりはいくらでもいる時代。そしてやり直しがきかない時代・・・。

－生産性・効率性を求めた先にあるものとは－

生産性・効率性を求めた先にあるものとは何でしょうか？それはロボット、AI（Artificial Intelligence）です。AIはある条件を与え、その条件に合った知能と動きさえ備わっていれば抜群に生産的・効率的な働きをし続けます。現在でも目まぐるしい進歩とスピードで我々の生活はAIによって支えられるようになってきました。

ところで、将来AIにとってかわり、無くなってしまふ職業ランキングが存在するのをご存じでしょうか？以下がそのランキングになります。

- 1位 電車・路線バス運転手
- 2位 経理・学校事務員
- 3位 ごみ収集員
- 4位 ビル清掃員
- 5位 銀行窓口
- 6位 郵便・宅配配達員
- 7位 金属製品検査・加工
- 8位 スーパー定員
- 9位 新聞配達員
- 10位 ホテル客室係

どうでしょうか？納得のいく結果でしょうか？このランキングを読みながら今の生活を振り返ってみました。確かに現在もセルフレジ化は急速に進んでいるし、電車もゆりかもめなどはすでに自動運転です。我が家は息子や娘よりもロボット掃除機が大活躍してるし、新聞はスマホで読めるようになりました。このように、我々が考えている以上のスピードで、将来我々の仕事の大部分はAIにとって代われようとしているのかもしれない。自殺者数14年連続3万人時代に、生産性がなく不効率な人間を排除し続けてきた我々は、やがてAIに仕事と生活を奪われ気づくでしょう。「自分が社会の歯車になって必死に守り続けてきたこの社会はいったい何だったんだろう」と。。。。。

そして新型コロナウイルスの影響で今、毎日の

ように店の閉店、失業、倒産のニュースが飛び交っています。一生懸命働いている人間が、新型コロナウイルスの影響で一夜にしてすべてを失ってしまう現実が今もそこにあるのです。まるで不要不急の名のもとに生産能力を失った人間は、生きる価値がないという烙印を押されてしまったかのようです。

－人としての在りようとは－

では我々の代わりに社会の中心になろうとしているAIは「人としての在りよう」にとって代わるのでしょうか？

そうではありません。

AIは、ある条件を与え、その条件に合った知能と動きさえ備わっていれば抜群に効率よく、生産的な動きをし続けます。しかし、予測不可能な自然界ではまるで身動きは取れないのです。今の社会のルールに沿って生きるなら、誰よりもスムーズに生活できるでしょうが、一度ルールが変わってしまうと適応できなくなります。それがAIの限界なのです。これまでの社会が必死に追い求めてきた生き方はこのような生き方です。だから今新型コロナウイルスの問題ですべてのルールが変わり、世の中は混沌の極みとなっています。合理性ばかり求められる社会は、やがて人間がAIにとって代わられる時代になるでしょう。同時に新型コロナウイルスのように不測の事態が起こると、途端に適応できなくなる時代になるということなのです。

2020年4月に、シャープのIoT家電（Internet of Things：インターネットによって家電を管理するAIシステム）の制御システムがサーバーダウンしました。原因はシャープが発売したマスク購入に注文が殺到したためだそうです。なんとも皮肉な話ではないですか？そんな危うい世界に我々は身をゆだねているという現実気づかなければいけません。

目まぐるしく変わる世の中に適応するには、世の中のルールよりも自然界で共存して生きるための本質的な「人としての在りよう」が求められます。では危うい社会に身をゆだねない、

本来あるべき「人としての在りよう」とは何でしょう？

それは以下の5つに集約されます。

1. 必要以上に搾取しない
2. 弱いものに手を差し伸べる
3. 足りないものを補い合う
4. 困難に直面した時は知恵を出し合う
5. 美しいと感じたことを分かちあい、共に感動する

我々はいつの時代もそのようにして生き延びてきたはずです。今まさに新型コロナウイルス感染症の困難のさなかにある中、この5つの課題を共有し困難を克服する必要があります。

効率よく生きることができなくなった人は、人生の落後者でもなければ社会の落ちこぼれでもありません。世の中は多様性に満ち溢れています。効率よく生きようとするがむしゃらに生きている人、その結果栄光を手に入れた人、挫折した人、そもそもそのような競争のスタート地点にすら立てなかった人、あえて立とうとしなかった人、それらすべてが存在するということが自然社会のありようなのです。富と栄光を手に入れた富豪がホームレスに手を差し伸べた方がいいのです。ホームレスががむしゃらに頑張る挫折し落ち込んでいる人を勇気づけてもいいのです。それぞれの存在のありようを生かして支えあう社会が正しい社会なのではないでしょうか。

—人としての在りようを支えるためには—

2020年4月、東京都練馬区で三代続いた老舗とんかつ屋の店主が、油をかぶって自殺をしたというニュースが流れました。その店主は、新型コロナウイルス感染症の問題が生じる前は東京オリンピックの聖火ランナーとして走る予定だったのだそうです。アメリカやイギリスで新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まった今、もし4月にさかのぼってこの店主に声をかけるとしたらなんと言うのでしょうか？「苦しみは一

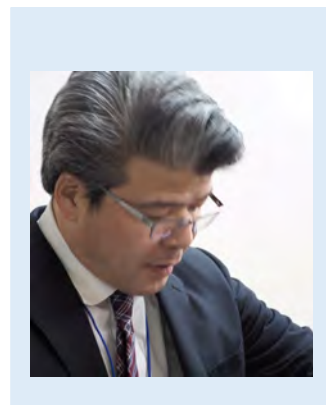
時です。明るい未来はきっとくる」と言うのでしょうか？そのようにいくら力説しても、その声はきっと彼のここには届かないでしょう。

困難のさなか苦しんでいる人は「今、ここ」を生きています。そのような人に、「明日きっといいことがある」と言えるのは、我々が明日の輝かしい未来の可能性を知っているからに過ぎません。困難に直面し苦しんでいる人は、「今、ここ」にある不安や絶望にまみれた困難な状況を生きようとしているのです。だから我々も「人としての在りよう」を支えるためには、あるかどうか分からない将来の希望に目を向けるのではなく「今現実にある、ここ」の困難に共に目を向けて支える必要があるのです。

—おわりに—

自殺者数 3 万人時代を経て新型コロナウイルス感染症問題を生き抜くために、改めて「人としての在りよう」とは何なのかについて考えてみました。我々は困難に直面すればするほど必要以上に搾取し、弱い者から奪い、冷淡になります。しかしそんな時だからこそ「今、ここ」の困難のさなかにいる人に目を向け、支えることが必要です。そのことで本来の「人の在りように気づき」、我々自身も豊かな生活を取り戻すことになるのだと思います。

あおもりのいのちの電話の相談活動は、そのような活動を目指しています。



★プロフィール

田中 真
(たなかまこと)

平成26年よりNPO
法人あおもりの
いのちの電話研修委員
長
弘前大学大学院保
健学研究科助教

相談活動を始めて半年が過ぎ、自分の気持ちの変化に気づいた事が3つあります。

1つ目は、相談活動日以外にも、相手の話を傾聴し相手を肯定できるようになった事です。以前までの自分とは決定的に違う部分です。相談活動をする前は、自分の感じ方と違うと相手を否定している自分に気づいていたのですが、相手の考え方も受け入れられるようになったのが、大きな気持ちの変化です。相手の話を傾聴すると、自分とは違う考えや気持ちに触れるので、自分の感じ方や気持ちの振り返りができるようになりました。

2つ目は、様々な病気や様々な生き方をコーラーさんから教えてもらうことが多くなり、自分の狭かった知識に広がりを感じるようになった事です。コーラーさんが話す専門用語は、私の勉強不足から知らない言葉が多く、素直に「それは、どのような事でしょうか」と聞くと、丁寧に言葉の意味を教えてください。「そんな事も知らないのか」と怒られた事が一度も無いので、コーラーさんにはとても感謝しています。

3つ目は、相談活動のために共に研修会で学んだ26期生の仲間ができた事です。彼女達との絆が太く強くなったと感じる事ができるのは、同じ志を持ち、相手の話を傾聴して少しでも相手の気持ちに共感したいと思う気持ちが一緒だからだと思います。相談活動を通して、自分の気持ちが丸くなっていくことを実感しています。

最後に、「ありがとうございました」とか、「またお話を聞いてほしいです」とかの言葉をいただくと、私でも役に立てたのだと嬉しくなりました。

(キャシー)

—27期生相談員の声から—

自殺対策にかかわったのは、平成16年に精神福祉ボランティア「エールの会」に参加してからです。以前から精神障害などに関する興味は持っていました。小説や映画、ノンフィクションの本などを読むのが好きでしたし、また、今までに生活してきた中でも様々な人との出会いがありました。そしていつの頃からか、健常者と精神に障害があると言われる人たちの境はどこにあるのだろうと考えるようになっていました。

私自身では障害者の持つ障害も、全てがその人の持っている個性のように感じていましたし、障害に関する差別や区別は持たずに来たと言っているでしょう。だから尚更、境界というものがどこにあって、どういうふうに分けられ区別されるのか、不思議に思う気持ちが強かったのです。

それから間もなくのこと、同業者の自死ということに直面します。その人は自分より若い経営者でした。明るくて快活、若手の同業者たちをまとめ、未来に向かって進んでいくリーダー的な存在でもあったのです。どう考えても普段の彼の行動や人柄から自死ということに結びつきません。葬儀の会場で、遺影を見ながら、「自分よりも若い、あの人は何故？」という、事実を受け入れられない自分がいました。うつ病に加え、自死についても考えるようになったのはこの時からです。

もう少し誰かの手助けになればと思い、いのちの電話に参加しました。以前にも増して、電話をとって話を聴くだけの難しさを日々感じています。電話をかけてきた方が、電話をかけて良かったと思ってもらえるよう頑張っていきたいと思います。

(K・H)

温かいご支援をありがとうございます

あおもりのちの電話のために、ご支援をいただいた方々は次の通りです。

資金ボランティアとしてあおもりのちの電話相談活動をお支え下さり、心から感謝申し上げます。

☆ 正会員（個人）

石川 徹一	田中 真	佐藤 知恵	齊藤 涉	藤林 正雄	村上 修
澤 誠子	今野 あけみ	藤 朝子	杉 沢 徹	林 百合子	山口 泰
戸谷 正子	加賀 里佳	齋藤 友子	清野 洋	馬場 加代子	山内 加代子
一戸 和子	菊地 公英	齋藤 元子	関 川 明	東山 英子	山田 玲子
今谷 孝子	木 明 旭	柴 田 賢	外川 志津子	藤原 留理子	山田 京子
牛山 敬子	工藤 純子	柴田 祥子	高野 節子	原田 ひとみ	山田 満里子
小山 真貴子	工藤 範子	對馬 優子	武田 麗子	成田 公子	山田 静子
小笠原 和子	工藤 智和	鈴木 和佳子	長谷川 之子	樋口 久美子	山田 智子
小野 幸子	葛西 弘	桑田 英美	阿保 香月	宮本 暁子	吉田 名
				澤 奈保子	園 名 8

(敬称略/順不同)

☆ 賛助・寄付（個人）

秋元 義禮	今井 克子	高 僖 峻	佐藤 孝雄	工藤 哲生	藤田 美穂
阿部 信子	今井 正樹	古川 一仁	澤 精 一	工藤 千賀子	藤原 裕貴子
石川 徹一	今井 礼子	齊藤 まなぶ	澤 奈保子	竹田 周平	藤林 正雄
石川 康	大平 絢子	杉本 和彦	神馬 裕司	竹田 侑子	松尾 慶子
石澤 誠	小山 隆公	佐々木 久慶	中村 妙子	田 中 真	三上 淑子
石岡 昭	小山 テル	佐々木 こずえ	野田 美保子	田 中 光江	サノカツトシ
石田 悟	小山 内啓代	佐々木 正子	木村 幸子	田 中 洋子	吉田 智子
一戸 和子	小崎 和	木立 紀子	金子 宏彦	瀬川 睦子	園 名 1
岩谷 和子	對馬 てみ	貴田 岡まつ	成 田 聡	中 津 純	

2020年10月1日～2020年12月31日

(敬称略/順不同)

☆ 賛助・寄付（団体）

(有) きららメディアカル	社会福祉法人和幸園	報 効 寺
(株) 大川地建	富野町内科医院	やぎはし腎・泌尿器科医院
(株) 日善電気	藤代健生病院	ミカミ 歯科
(株) レンゴウ事務機	一般社団法人浅虫温泉病院	東奥義塾 宗教部
サムエルダビデ保育園		

2020年10月1日～2020年12月31日

(敬称略/順不同)

※氏名を掲載していますが、希望しない方は事務局までご連絡下さい。

資金ボランティアとして皆様のご支援を！

あおもりのちの電話は、相談電話、相談員養成費、広報活動費、センター管理費等で、年間550万円が必要で、皆様の温かいご理解とご支援で活動していますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

☆ 正会員（個人） 年間 1万2千円

☆ 賛助会員

(個人) 1口 1,000円/年(何口でも) (団体) 1口 3,000円/年(何口でも)

※個人・団体とも年間で3,000円以上寄附をして下さった場合、税制上の優遇措置があります。

◇ 振込先

①郵便振替 02300-2-3761 特定非営利活動法人あおもりのちの電話

②みちのく銀行 弘前営業部 (普) 2009914 特定非営利活動法人あおもりのちの電話

特定非営利活動法人あおもりのちの電話

〒036-8691 青森県弘前郵便局私書箱29号

事務局 TEL 0172-38-4343

FAX 0172-38-5355

<http://www.inochi-a.net/>



発行人: 石川 徹一

編集: 事務局

★この広報誌は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。